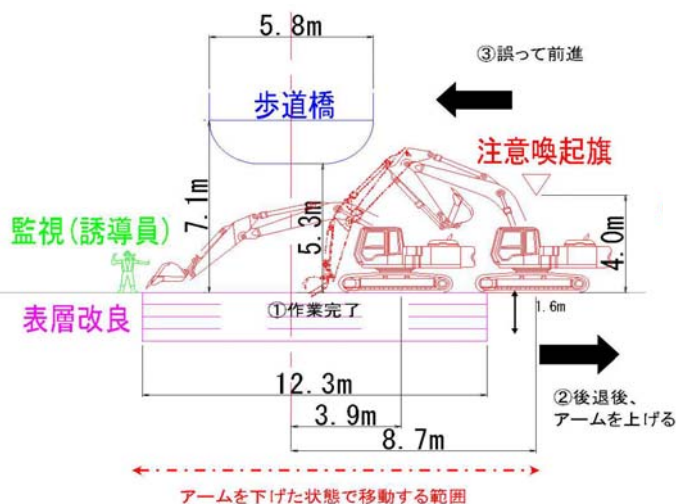


発生日時	平成 23 年 5 月 19 日 (木)			16 時 40 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	歩道橋外装板損傷		
事故概要	表層改良作業後にバックホウを操作中、アームを上げたまま前進させ、歩道橋の外装板を破損させたもの。					

事故発生状況

・0.7m³バックホウによる表層改良作業。
 ○現場ルール
 バックホウが注意喚起旗より歩道橋側に移動する場合は、アームを下げた状態で作業すること



- ①歩道橋下での作業が完了
- ②バックホウを後退、アームを上げる
- ③監視員が注意をしたところ、オペレータが声に驚き、バックホウを前進させ、アームを歩道橋に接触



歩道橋損傷状況

【事故発生原因】

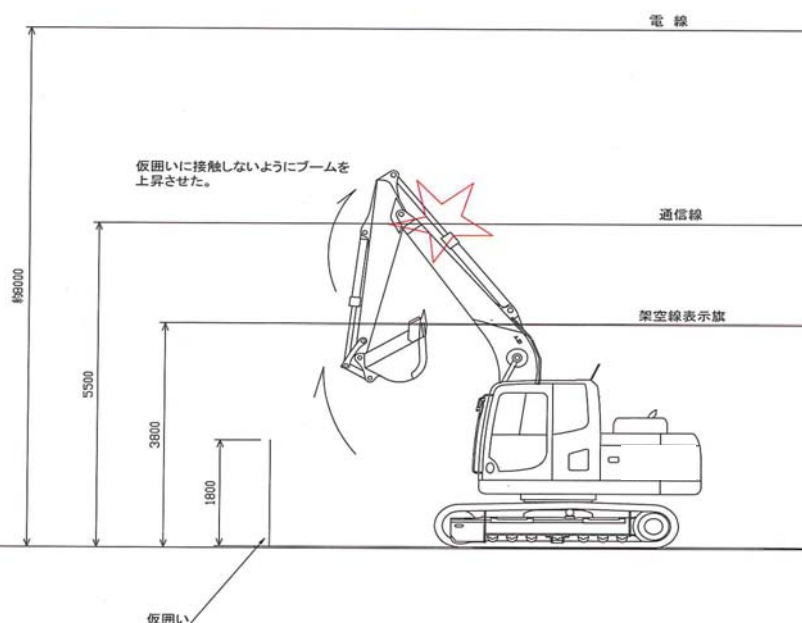
・上空支障物に対する注意喚起が不十分であったため。

【事故防止のポイント】

・上空支障物の近接箇所における作業時の安全管理を周知・徹底する。
 ・注意箇所における作業については作業計画を工夫する。 など

発生日時	平成 23 年 8 月 8 日 (月) 17 時 30 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	架空線(1本)切断	
事故概要	作業終了後にバックホウを移動中、架空線に接触、切断させたもの。				
	公衆損害事故—架空線・標識等損傷				

事故発生状況



現場状況

- ・盗難防止のため、作業にて使用した0.45m3バックホウを決められた場所に停車しようとしていた。
- ・側方に仮囲いフェンスがあったため、ブームを上げ、旋回しようとした際に架空線に接触し、切断したものの。
- ・片付作業であったため、誘導員を配置していなかった。
- ・架空線の注意喚起のため、のぼり旗、門型ゲートは設置していたが、設置位置が架空線直下ではなかった。

【事故発生原因】

- ・誘導員が配置されていなかったため。
- ・バックホウ移動時の周囲安全確認不足であるため。 など

【事故防止のポイント】

- ・上空支障物の付近で作業を行う際は誘導員を配置する。
- ・架空線に対する注意喚起を徹底する。 など

発生日時	平成 23 年 8 月 17 日 (水) 12 時 50 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-		
事故概要	バックホウにてAs殻を積み込み中、アームを信号機に接触させ、損傷させたもの。				
	公衆損害事故-架空線・標識等損傷				

事故発生状況



- ・歩道の平板舗装を施工するため、既設アスファルト舗装を0.15m³バックホウにて掘削・積込作業を行っていた。
- ・昼休み中にバックホウのオペレータが単独で作業を行ったため、誘導員は配置されていなかった。
- ・上空支障物に対する注意喚起が行われていなかった。
(KY活動、のぼり旗の設置等)

【事故発生原因】

- ・架空線付近での作業方法の指導・徹底が不十分であったため。
など

【事故防止のポイント】

- ・上空支障物に関する注意喚起を十分実施する。
- ・上空支障物の近接箇所における作業方法について作業員に周知・徹底を行う。
など

発生日時	平成 23 年 11 月 14 日 (月) 22 時 10 分				天候	曇
工事情報	道路系事務所 As舗装工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	照明の配管損傷		
事故概要	バックホウにてアスファルト殻の搬出作業中、高架下に添加されている照明配管に接触、照明を消灯させたもの。					
公衆損害事故-架空線・標識等損傷						

事故発生状況



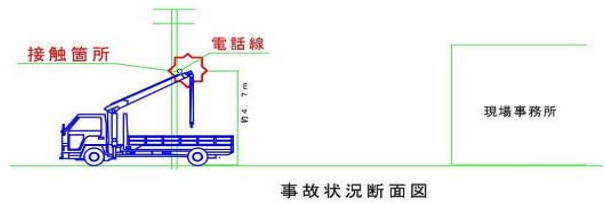
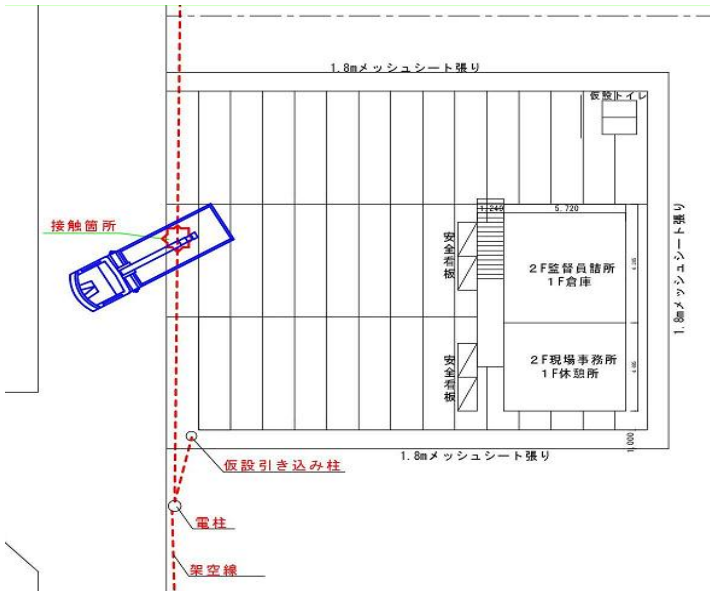
- ・現場から高架下の資材置き場に運搬したコンクリート・アスファルトガラの搬出作業を行っていた際に、高架下に添架されてる照明配管φ65にバックホウのアームが接触し損傷。
- ・接触した時にブレーカー(遮断機)が落ちたことにより高架下の照明灯2箇所が消灯したものの。
- ・高架下での作業手順が定められておらず、支障物に対する注意喚起も行われていなかった。

【事故発生原因】
 ・上空支障物に対する注意喚起が不十分だったため。 など

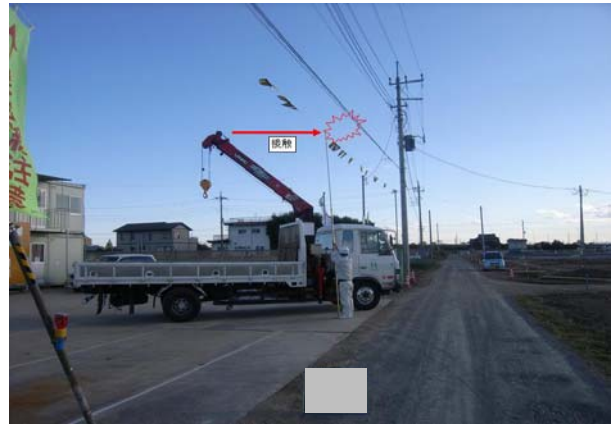
【事故防止のポイント】
 ・上空支障物を考慮した作業計画を策定し、作業員に内容を周知・徹底する。
 ・上空支障物について三角旗やのぼりを使用して作業員に注意喚起を行う。 など

発生日時	平成 23 年 9 月 29 日 (木) 16 時 20 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 建築工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	架空線切断(電話不通 3軒)	
事故概要	ユニック車を使用して敷鉄板を敷設し、車を動かしていたところ、ブームが架空線に接触し、切断したもの。				
公衆損害事故-架空線・標識等の損傷					

事故発生状況



- ・仮設現場事務所を設置するため、敷き鉄板を敷設。
- ・敷設作業を行っていたユニック車が、現場から退場する際にブームを格納せず走行したため、上空のNTT架空線にブームが接触し、電話線を切断、ケーブルを損傷させたもの。
- ・受注者の判断により、発注者への事故発生報告は行われなかった。
 <公共工事建築標準仕様書 1.3.10 災害時の安全確保>



現場状況

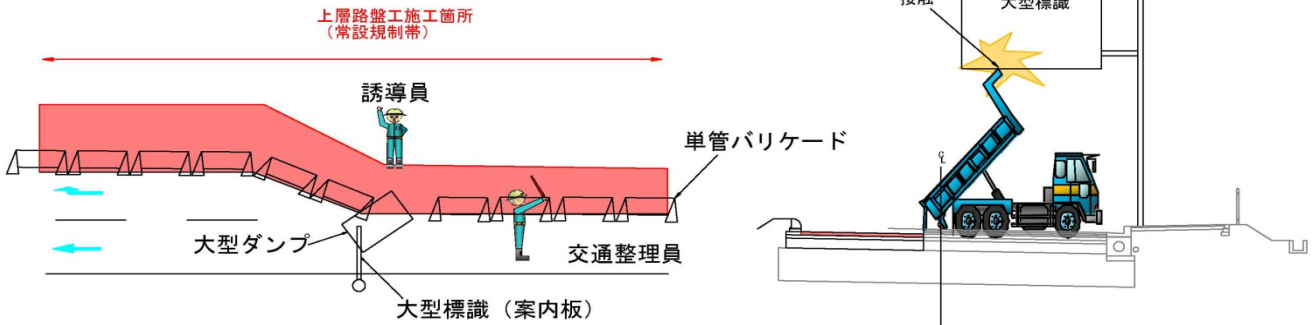
【事故発生原因】
 ・架空線に対する注意喚起が不十分だったため。 など

【事故防止のポイント】
 ・架空線近接作業時の安全管理を周知・徹底する。
 ・(事故が起きたら速やかに発注者に報告する。) など

発生日時	平成 23 年 12 月 22 日 (木)			11 時 10 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	標識損傷		
事故概要	資材運搬業者が大型ダンプにて路盤材を荷下ろし中、標識に接触し、損傷させたもの。					
公衆損害事故-架空線・標識等の損傷						

事故発生状況

上層路盤施工中、材料搬入のダンプが施工幅員が狭いため、道路上から荷下ろしを行っていた。誘導員の指示のもと荷下ろしをしたが、運転手・誘導員とも標識の認識がなく、接触した。



- ・資材運搬会社のダンプトラックが、荷下ろし作業を行っていた。
- ・誘導員を配置し、周囲を確認していたが、標識を見落としていたため、当たってしまったもの。



現場状況



損傷状況

【事故発生原因】

- ・誘導時の周囲確認不足によるもの。
など

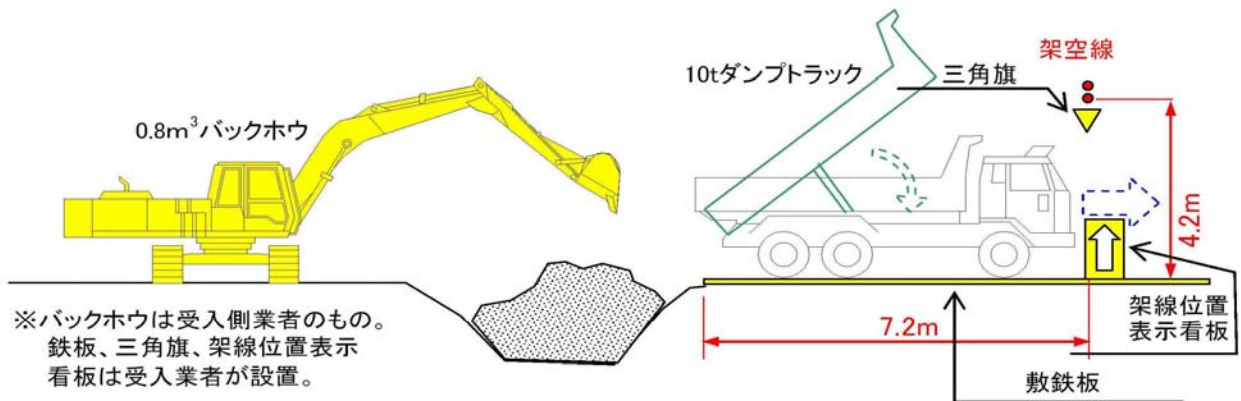
【事故防止のポイント】

- ・適切な誘導を実施するよう、作業員に周知・徹底する。
など

発生日時	平成 24 年 1 月 6 日 (金) 12 時 5 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	架空線切断 (ケーブルテレビ2時間不通・約10世帯影響)	
事故概要	土砂受け入れ地にて10tダンプが荷台を引っ掛けて架空線を切断したもの。				
公衆損害事故－架空線・標識等の損傷					

事故発生状況

土砂の荷卸し後、荷台を下げかけの状態、架空線下を通過できる程度に下がったものと思込んだ運転手がダンプトラックを前進させ、ケーブル(2本のうち1本)に荷台を引っ掛けて切断した。またケーブルに引張られて切断箇所両脇の電柱各1本が傾斜した。



【事故発生原因】

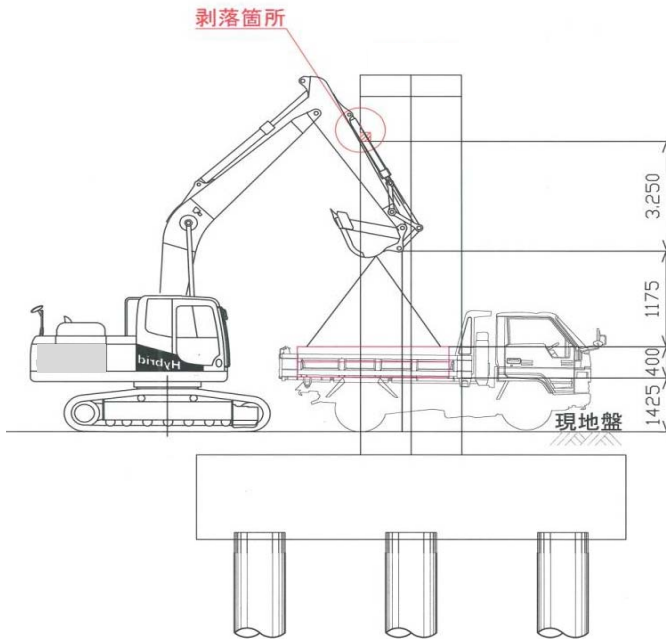
・架空線に対する注意喚起が不十分であったため。 など

【事故防止のポイント】

・架空線の近接箇所における作業時の注意事項について周知・徹底する。
・誘導員を配置し、荷台の下げ忘れなどを確認する。 など

発生日時	平成 24 年 2 月 13 日 (月) 16 時 50 分			天候	曇
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	橋脚損傷	
事故概要	バックホウにて覆工板の盛換作業をしていた際に、既存橋脚を損傷させたもの。				
	公衆損害事故-架空線・標識等損傷				

事故発生状況



損傷想定状況



損傷状況

・クレーン機能付きバックホウにて覆工板を設置していた。
吊り上げて動かした際に橋脚に接触し損傷させたものと思われる。
(バックホウ、橋脚ともに接触傷確認済み)

・監視員は配置されていなかった。

【事故発生原因】

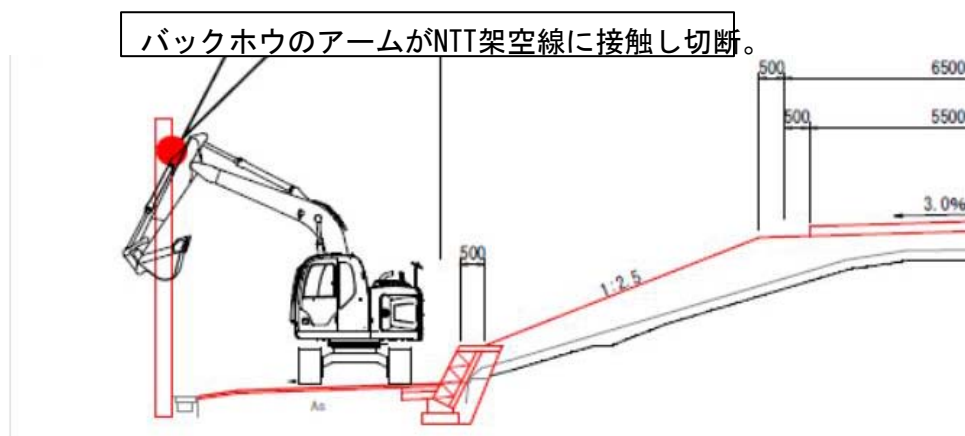
・上空支障物に対する注意喚起が不足していたため。 など

【事故防止のポイント】

・上空支障物近接箇所における作業については特に注意するよう作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 24 年 3 月 7 日 (水) 13 時 45 分			天候	曇
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	NTT回線損傷	
事故概要	擁壁ブロック設置作業にて、バックホウのアームがNTT線にあたり切断させたもの。				
	公衆損害事故-架空線・標識等損傷				

事故発生状況



- ・擁壁ブロック設置をバックホウ(0.45m³)にて実施。
- ・作業に使用する型枠を取りにバックホウのバケットを降ろしたところアームがNTT光ファイバーケーブルに接触し切断したもの。

【事故発生原因】

- ・架空線に対する注意喚起が不十分であったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・架空線近接作業時の安全管理を周知・徹底する。
- ・架空線について三角旗やのぼりを使用して作業員に注意喚起を行う。 など